

- 新年のご挨拶 1面
- 胸部外科今昔 2面
- 理事会ニュース 3面
- 第43回心臓外科学会総会開催にあたり 3面
- 女性医師の会 3面
- 胸部外科学会優秀論文賞 4面

JUST NOW JATS

CHALLENGE FOR THE FUTURE!

2013-01 No.17



特定非営利活動法人 日本胸部外科学会
The Japanese Association for Thoracic Surgery

新年のご挨拶

日本胸部外科学会理事長 坂田 隆造

あけましておめでとう
ございます。去る12月5
日に2013年度第1回
理事会を開催し、新理事
をまじえて各種委員会構
成を確定しました。新た

な布陣で理事長としての
2年目の活動に邁進する
所存でありますので、会
員の皆様のさらなるご協
力、ご支援をお願いする
次第です。

ので、一番である必要は
なく、意味もありません。
しかし安心・安全の医
療を提供できる専門医を
育てるためには、教育の
具体的なプログラムを確
立し、その実行度と達成
度を評価する仕組みが必
要です。それぞれの教育
施設で適切な診療行為

(手術)が行なわれてい
ることが必要不可欠であ
り、従って各施設の評価
と指導が重要な作業とな
ります。関連学会、心臓
血管外科専門医認定機
構、呼吸器外科専門医合
同委員会などと連携して
作業を進めていきたいと
考えています。

とに「胸部外科手術にお
ける症例数と結果の関係
性」について(GTCS. 2012:
Vol.50, N10, 625-638)
を発表しました。200
0年〜2004年の5年
間データによる数井論文
(GTCS. 2007, 55: 483-
92)に続くもので、過
去との比較で最近の5年
間成績はすべてのカテ
ゴリーで向上してしまし
た。また小児や新生児の
開心術では症例数と手術
成績に有意な関係はみ
られず、成人心臓手術に
おいては症例数の少ない
施設間で成績にバラつき
がみられ、一定の症例数
を超えると成績は同等と
なり、一定数は手術によ
って異なりました。食道
癌手術、肺癌手術におい
ても同じ傾向がみられま
した。更に経験ベイズを
用いた解析で、平均と比
べて死亡率が有意に高い
施設数を手術毎に割り出
しました。これは症例の
ハイスルク故のたまたま
の結果なのか他に原因が
あるのか、このような分
析をテコに日本全体のレ
ベルアップをはかってい
きたいと考えています。

向上が大前提でありま
す。学会集会は総合将来
計画委員会や学会集委
員会等によって質の向上
がはかられ高レベルの学
術集会に変貌してしま
したが、学会誌は遅れをと
っています。第1回理事
会でも一番の課題である
ことを確認し、会誌編集
委員会と力を合わせて
GTCSのF獲得を目指し
て取り組んでいきたいと
決意しております

第65回日本胸部外科学
会定期学術集会が久留米
大学藤田博正会長のもと
2012年10月17日〜20
日に福岡国際会議場で開
催され、成功裏に終了し
ました。改めて藤田博正
先生及び久留米大学医学
部外科学教室の皆様にお
より御礼申し上げます。
この学術集会の理事長
講演で、私は3項目の重
点課題を提示しました。
一番目は専門医制度の質
的強化で、修練医の教育
を充実させることによっ
て専門医全体の底上げを
はかることです。厚生労
働省による「専門医制度
の在り方検討会」や日本
専門医制評価・認定機構
の活動などが入り乱れ、

日本の専門医制度がどの
ように形作られるのかま
だはつきりとした姿はみ
えませんが、「在り方検
討会」の方は本年3月に
最終報告を公表する予定
とのことです。仮にこの
流れの末に日本の専門医
制度全般がある程度の共
通規定にのっとって再構
成されることがあっても、
胸部外科学会の関与
する専門医制度、すなわ
ち心臓血管外科、呼吸器
外科、食道外科の専門医
制度が大きな変更を余儀
なくされるような事態は
ないと思っております
が、いずれにせよ、我々
は関係する専門医の質向
上をはかる責務がありま
す。

2番目は学術調査結果
の公開です。本学会では
既に1986年以来、学
術調査を毎年学会誌に発
表し、1996年からは
全国平均死亡率も公表し
ています。これによって
本邦の胸部外科手術全般
の輪郭(疾患毎の症例数、
死亡率、それらの全体像)
と推移が明瞭になっただ
けでなく、各施設、各術
者は自らの手術成績と全
国平均のそれとを比較で
きるようになり、いわば
フィードバックの形で手
術成績の向上に多大の貢
献をしてくれました。

に初めて2010年度学
術調査の一部が会員の同
意が得られる範囲で公開
されました。我々として
はかなり理解しづらい不
十分な公開形式であると
考えていましたが、後の
アンケートで会員の大多
数からは、主に多くの他
施設(施設名は不明なが
ら)と自施設を症例数や
成績で比較できるとの理
由で肯定的な回答が寄せ
られました。リスク評価
のされていない手術成績
は比較できない、という
大原則を踏みはずすこと
なく公開の明解さを高め
ていきたいと思えます。

3番目は学会誌の質の
向上です。GTCSは日本
の学会誌にImpact Fac
tor (IF)を持たない数少な
い学会誌であります。が、
「日本の医学会を先導す
る学会」を目指すならば
学術集会と学会誌の質の

専門医の質を上げるの
には二つの方法がありま
す。一つは専門医の数を
絞っていわば少数精鋭部
隊とする方法、もう一つ
は修練医の教育を改善す
ることによって数を維持
しつつ全体の底上げを図

る方法で、我々が目指す
のはもちろん後者の方法
です。専門医の在り様は、
オリンピックではなく、国
民が全国均しく安心・安
全の医療を享受できるよ
うな医療政策の中核的存
在となるべきものである

一方データの解析と公
開については学術調査結
果の持つポテンシャルか
らはほど遠いもので、「よ
い医療施設」を探し求め
る国民からは公開の拡大
要望が近年とみに高まっ
ております。このような
状況の中、田林前理事長
の強力なリーダーシップ
のもと、2011年12月

GTCSのF獲得を目指して
3番目は学会誌の質の
向上です。GTCSは日本
の学会誌にImpact Fac
tor (IF)を持たない数少な
い学会誌であります。が、
「日本の医学会を先導す
る学会」を目指すならば
学術集会と学会誌の質の

向上が大前提でありま
す。学会集会は総合将来
計画委員会や学会集委
員会等によって質の向上
がはかられ高レベルの学
術集会に変貌してしま
したが、学会誌は遅れをと
っています。第1回理事
会でも一番の課題である
ことを確認し、会誌編集
委員会と力を合わせて
GTCSのF獲得を目指し
て取り組んでいきたいと
決意しております



坂田 隆造
京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座
心臓血管外科学 教授
1975年3月 京都大学医学部卒業
1975年6月 京都大学医学部第二外科入局
1982年7月 Institut Mediteraneen de Cardiologie,
Unite de Chirurgie Cardiovasculaire,
Clinique de la Residence du Parc
(France)
1984年4月 Centre Medico-chirurgical de la Porte
de Choisy Unite de Chirurgie Cardio-
vasculaire (France)

1985年6月 社会保険小倉記念病院心臓血管外科
(医長)
1988年6月 国家公務員等共済組合連合会熊本中央
病院心臓血管外科(医長)
2000年1月 鹿児島大学医学部外科学第二講座教授
2008年8月 京都大学大学院医学研究科器官外科学
講座心臓血管外科学教授
2011年4月 京都大学医学部附属病院副院長
趣味: ゴルフ、読書 好きな言葉: 空